

6 月教育委員会定例会 会議録

- 1 日 時 令和 7 年 6 月 24 日（火）13 時 15 分から 14 時 37 分
- 2 場 所 豊後高田市役所真玉庁舎教育委員会室
- 3 出席委員

教育長	河野 潔
職務代理人	桑原 猛
委員	大嶽由美子
委員	松成 康男
委員	護城 和代
- 4 事務局

市参事兼教育総務課長	植田 克己
文化財室長	河野 典之
学校教育課長	上家 誠夫
- 5 書 記

総務管財係長	岩田 隆宏
--------	-------
- 6 議 題
 - 1 教育委員会事務局 6 月執行経過報告及び 7 月行事予定について
 - 2 議題
 - (1) 令和 8 年度小・学校使用教科用図書採択スケジュールについて
 - (2) 学校閉庁日について
 - (3) 高田高校の生徒に対する昼食の無料提供の進捗について
 - (4) 教職員の服務研修について
 - (5) 防災教育の徹底について
 - (6) 水泳授業における B & G プールの活用について
 - (7) 令和 7 年豊後高田市議会第 2 回定例会の報告について

その他

開会あいさつ 教育長から開会あいさつ

午前中に行われた、市議会第 2 回定例会の最終日の中で、教育長の再任及び新たな教育委員として、山尾華織さんの選任が全会一致で可決されたことの報告と再任のあいさつを行う。

議事進行

桑原職務代理者

(桑原職務代理者)

それでは、只今から、令和7年第6回定例教育委員会を開会いたします。
会議次第に沿って進行します。

○教育委員会事務局6月経過報告について(資料1～2ページ)

教育長から6月執行経過報告について、資料にもとづき説明。

- ・ 6月 8日 「田染荘」御田植祭
- ・ 6月 9日 【議会】開会日
13日【議会】議案質疑、16日【議会】一般質問、
19日【議会】社会文教委員会、24日【議会】閉会日
- ・ 6月15日 第39回教育長杯少年野球大会(1日目)
- ・ 6月18日 春の新そば試食会
- ・ 6月19日 第39回教育長杯少年野球大会(2日目・決勝戦)

(各委員) 意見・質問等なし。

○教育委員会事務局7月行事予定について(資料3ページ)

教育長から事務局7月行事予定について、資料にもとづき説明。

(各委員) 意見・質問等なし。

○令和8年度小・学校使用教科用図書採択スケジュールについて

(資料4ページ)

学校教育課長から資料に沿って説明。

(各委員) 意見・質問等なし。

○学校閉庁日について(資料5ページ)

学校教育課長から資料に沿って説明。

(松成委員) 学校閉庁日の取り組みは、全国的なものなのでしょうか？

(学校教育課長)

全国一律の取り組みでは無く、市町村ごとの取り組みとなります。

(教育長)

県内の状況を説明しますと、2／3ほどの自治体で、お盆の時期に同様の取り組みが行われています。

(各委員) その他、意見・質問等なし。

○高田高校の生徒に対する昼食の無料提供の進捗について (資料6～8ページ)

学校教育課長から資料に沿って説明。

(護城委員) 我が子も対象であり、毎日、温かく、美味しい給食を食べることができ、本当にありがたく思っています。

気になる点としては、配食量を均等にする中で、残食が多いとの意見を聞きますが、配膳の際に工夫するなどにはできないのでしょうか？

(学校教育課長)

その日の給食を均等に配膳することを基本に、各人からの申し出により、増減を行うなどの対応は行っているようです。

(教育長)

学年、クラスによって男女比も異なり、それによって残食の差も生じることとなると思います。

なにぶん、県内初となる高校での給食形式での昼食提供ということもあり、現在、試行錯誤中、残食の対応についても、今後、徹底する旨の話を校長先生から聞いています。

しかし、私が現場を視察した際には、クラス間で融通しあうなどの工夫も見られたところです。

(護城委員) 食べ物、粗末にはしたくないと思いますので、なるべく残食の出ない取り組みは続けていただきたいと思います。

(桑原職務代理者)

開始当初と比較し、利用者が1名減少している理由は何でしょうか？

(教育長)

私も気になったので校長先生に聞いてみたのですが、その子は、昼食時間も惜しいほど勉強に打ち込んでいるとのことでした。

給食形式での昼食では、配膳や片付けなどの時間も取られことから、その時間も勉強時間に充てたいと言うことの様です。

(各委員) その他、意見・質問等なし。

○教職員の服務研修について (資料9～11 ページ)

学校教育課長から資料に沿って説明。

(大嶽委員) 市内での不祥事については、教育委員会事務局の指導の徹底もあり、最近あまり聞かなくなりましたが、何か気になる点等はないのでしょうか？

(教育長)

これだけの情報化社会の変化、それに加え、保護者、子ども達の考えも様々な状況の中ではありますが、現時点で気になる点はありません。これは、本市だけではなく、他の市町村でも抱えている課題であろうと思います。

こういったことから、未然防止をどうやって徹底するかということが、極めて大切であるとの思いから、定例会の資料の中にも盛り込み、甚大な問題までには至っていないという状況であることを共有させていただきました。

(大嶽委員) 大変な時代になってきたと思っています。

次から次に新しい事案がニュースなどで取りざたされる状況にあるのですが、研修を行う際には、新しい事案、具体例を取り上げて実施することにより、より身につまされるところも出てくると思いますので、タイムリーな資料等も提供しながら行っていただければ良いと思っています。

(松成委員) 研修を実施することも大変な労力であると思いますが、いつ、どこで、どのように行っているのでしょうか？

(学校教育課長)

基本的には、学校で研修日を決めて行っています。

毎週水曜日は、通常より短いコマ数となっていますので、そのタイミングに全職員での研修時間を設け、年4回、1回あたり1時間から1時間30分程度しっかりと研修を行い、研修の最後には、教職員一人ひとりに感想や意識の変化、今後への気概を述べる時間を設け、個々人に深くフィードバックさせる形で進めている状況です。

(松成委員) 研修の教材については、どのようなものなのでしょうか？

(学校教育課長)

報道された記事の写しであったり、大分県が作成する服務規律のテキストなどを活用しながら、教職員の年齢構成や学校規模などを加味し、校長を中心に各校に適した形の研修の方法を検討、実施してもらっています。

(大嶽委員) 少し前になりますが、子ども同士のもめごとの結果、保護者とその関係者が学校に押し掛け、子ども達を巻き込み事件になったという報道を目にしました。

現在、保護者の対応がどこの学校もすごく苦労していると耳にします。特に若い教職員は、保護者の要求への対応方法などで苦慮しているのではないかと思います。大学などで学ぶことのない、保護者対応についての研修などもあるのでしょうか？

(教育長)

本市も若年層の教職員が増え、保護者とコミュニケーションをとる方法に苦慮している、若い教職員が増えています。

そういった状況ですので、大分県も様々な研修を行っていますし、私たちもしっかりと若い教職員の状況を見守り、育てていく必要があると思っています。

そういった危機感というものは、現在の社会状況の中では考えていかなければならないと思いますし、保護者の要望、要求と言うものも非常に多岐に渡り、行き過ぎたものについては、教職員を守るという立場での研修を行う状況にもなっています。

私どもも常にアンテナを張り、保護者対応について、このラインを越えたら

専門機関に相談しようというケースも多々あるような状況です。

(各委員) その他、意見・質問等なし。

○防災教育の徹底について (資料 12～13 ページ)

学校教育課長から資料に沿って説明。

(護城委員) 学校訪問の際に感じたのですが、ヘルメットの有無がまちまちであったように記憶しています。
その違いは何なのでしょう？

(学校教育課長)

防災ヘルメットの取り組みについては、市内で3校導入しているところですが、統一したものではなく、学校独自の取り組みとなっています。

(教育長)

公立の幼稚園については、全て導入しているところです。

防災ヘルメットについては、安価なものもありますので、意識を高める意味でも公費で買い揃え、常に教室内に配置しておけないかということを検討しているところです。

(各委員) その他、意見・質問等なし。

○水泳授業におけるB & Gプールの活用について (資料 14 ページ)

学校教育課長から資料に沿って説明。

(松成委員) 香々地中学校の生徒は、香々地小学校のプールを利用していると思うのですが、香々地中学校の使えなくなったプールの取り壊しなどの計画はないのでしょうか？

(教育総務課長)

香々地中学校含め、使用できないプールの対応ですが、費用も掛かることから、現時点においては取り壊す計画等はありません。

(松成委員) 実際にプールで泳ぐという授業の方式自体を見直そうとする流れがあると聞いたことがあるのですが、豊後高田市についてもそういった考えはあるのでしょうか？

(教育長)

教育課程上で言うと、プールで泳ぐ授業は必須ではありません。

水泳を他のスポーツの時間に変更しますということを国が認めれば、問題の無いものとなります。

全国的には、水泳の授業を行っていない学校も増えています。

監視ひとつをとっても、水泳の授業はリスクが大きすぎるということで、保護者からの意見なども踏まえ、取りやめている学校が都市部には多くあると聞いています。

(各委員) その他、意見・質問等なし。

○令和7年豊後高田市議会第2回定例会の報告について（資料15～20ページ）

教育総務課長、学校教育課長から資料に沿って説明。

(各委員) 意見・質問等なし。

(桑原職務代理者：議事進行)

議事等が全て終了しました。

その他について、事務局から説明をお願いします。

・豊後高田市中学校総合体育大会の結果について（学校教育課長）

(桑原職務代理者：議事進行)

それでは、議事、その他まで、全ての項目が終了しました。

ここで、7月1日に退任される大嶽委員から、ご挨拶をお願いします。

(大嶽委員) 12年間、教育委員を務めさせていただきました。

教育長をはじめ、委員の皆さん、事務局の皆さんには、長い間お世話になりました。

この間、教育委員として、あらためて教育について見つめなおしたり、学校現場のことを考えなおしたりする機会をいただき、

本当に勉強になりました。
これからは、一市民として、豊後高田市の教育を側面から応援
していきたいと思います。
皆さん、ありがとうございました。

(桑原職務代理者：議事進行)

12 年間と言う長い間、本当にお疲れさまでした。
ありがとうございました。

○その他 次回の開催について

次回は令和 7 年 7 月 23 日 水曜日の 13 時 15 分から決定。

以上閉会。